

2面のつづき

防などを目的とした高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を継続してまいります。また、口腔機能の維持・向上のため、秋川歯科医師会の

協力の下、新たに後期高齢者への歯科健康診査事業を実施いたします。がん検診につきましては、あきる野市医師会や公立阿伎留医療センターの多大な御協力の下、胃内視鏡検査を胃がん検診に導入いたします。

予防接種につきましては、出産後における新生児や乳児の呼吸器感染症の重症化予防のため、定期接種として妊婦へのRSウイルスワクチンの接種を開始いたします。

⑤教育の充実

次に、教育の充実についてであります。子どもたちには、多様な個性が尊重される中で自己の可能性を最大限に発揮し、自らの人生を切り拓く力をしっかり身に付けてもらう必要があります。令和8年度は、GIGAスクール構想に基づき更新したタブレット端末などを最大限に生かし、生成AI等の導入やデジタルとリアルを融合した

新しい学びを創造することで、個別最適な学びと協働的な学びを一層深化させてまいります。外部施設を活用した水泳指導につきましては、実証実験の結果を踏まえ、前田小学校で本格実施いたします。さらに、実施校の拡大を見据えた取組も進めてまいります。各学校におきましては、古き良き伝統・文化や地域の人々に触れる機会を重視し、家庭や地域などと連携し、郷土愛とふるさとあきる野に誇りを持った「あきる野っ子」を育成してまいります。

今後本格化する新学校給食センターの整備事業につきましては、日の出町との連携を更に強化して取り組んでまいります。生涯学習の分野では、市民球場がプロ野球独立リーグへの初参戦を目指す東京レジデンシャル球団の本拠地として活用されることとなりました。その活動を支援することで、地域に根ざしたスポーツ振興や交流機会の創出に寄与してまいります。具体的な教育関連の取組につきましては、後ほど教育長より述べさせていただきます。

⑥行政力の強化と協働のまちづくり

最後に、行政力の強化と協働のまちづくりについてであります。社会経済状況の変化に対応し、限られた資源の中で多様化・複雑化する行政ニーズに応えるため、行財政改革を断行してまいりました。しかしながら、市債残高が減少し、健全化判断比率は着実に改善してきているものの、人件費や物価高騰の影響などもあり、財政の硬直化を示す経常収支比率は、高止まりしたままの状況にあります。このような状況を強く意識し、危機感を持って自主財源を確保するための「稼ぐ力」を付け、「推し進める力」を高めて、公共施設の再編や事務事業の見直し、自治体DX、組織体制の強化、業務の効率化などに鋭意取り組んでいく必要があります。このため、行財政改革推進プラン2023に掲げる各取組に着実に取り組んでまいります。自主財源の確保につきましては、生産年齢人口の増加策と企業誘致等に真摯に取り組んでまいります。また、ふるさと納税の活用を拡充してまいります。さらに、歳入の根幹となる市税の徴収率向上を図るため、ショートメッセージサービスを活用した催告を行うとともに、遠隔地等の訪問調

査を業務委託により行ってまいります。債権管理につきましては、引き続き、適切な方策の検討を進めてまいります。公共施設等の総合管理につきましては、各施設の再編等に関する実施計画を踏まえ、市民や利用者の意見、民間事業者の知見などを生かしながら、順次、再編等に取り組んでまいります。これらの取組を継続的かつ不断に進めながら、跡地となる市有地の有効活用などに一体的に取り組むため、組織体制を強化いたします。自治体DXの推進につきましては、eLTAxの仕組みを活用した公金収納の対象を拡大し、納付者の更なる利便性の向上を図ってまいります。行政手続きのオンライン化につきましては、利用者の利便性の向上を図るため、申請管理機能を拡充してまいります。また、本庁舎に無線LANを導入することで、シームレスな業務環境を整え、多様な働き方とペーパーレス化を推進してまいります。生成AIにつきましては、技術の進展が著しく、事務の効率化に資することから、安全対策を講じつつ活用を拡大してまいります。広報あきる野につきましては、特集記事の掲載や文字数を減らして見やすくするなど、大幅に紙

面をリニューアルいたします。事務の効率化と経費の削減を図りつつ情報発信力を強化してまいります。職員や組織の活性化につきましては、様々な行政課題に対応するために内部統制制度の構築と運用を進め、組織体制の強化に取り組んでまいります。また、多様な経験を有する人材の活用を継続し、市民ニーズや行政課題に柔軟に対応できる職場環境づくりを行ってまいります。協働のまちづくりにつきましては、町内会・自治会をはじめ、市民や事業者との協働・連携を更に強化するため、本市の協働やその支援の在り方を示す協働に関する方針を策定してまいります。地域活動の中核を担う町内会・自治会の運営や活動を支援するため、運営費や会館維持等の補助を行うとともに、コミュニティ事業交付金や東京都の「地域の底力発展事業」などの活用を支援し、地域活動の一層の充実につなげてまいります。第2次総合計画前期基本計画の計画期間が満了となることから、後期基本計画の策定に取り組んでまいります。この策定に当たり、市民アンケート調査の結果を効果的に反映するため、データを自動集計して多角的に分析し見える化する仕組みを導入いたします。これにより根拠に基づく政策立案、いわゆるEBPM推進の一助としてまいります。

以上、令和8年度の主要な施策について述べさせていただきました。私が掲げる「すべての市民が、活き活きと暮らしていけるまちづくり」の実現に向け、引き続き、全力を尽くしていく決意を申し上げまして、令和8年度の施政方針といたします。

手続きはお済みですか  
年金生活者支援給付金

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入金額やその他の所得が一定基準額以下の方の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されます。老齢・障害・遺族基礎年金を受けている方のうち、令和6年分の所得(令和7年度課税)が低下したことで、新たに支給対象となる方には、昨年9月に日本年金機構から、請求手続の案内が送付されています。「年金生活者支援給付金請求書」を提出していない方は、早めに手続きし

支給要件を満たせば  
年度途中でも請求できます

老齢年金生活者支援給付金は、同じ世帯に市・都民税が課税されている世帯員がいると支給されませんが、家族の死亡・住所変更・世帯分離などで世帯全員が非課税になり、支給要件を満たすようになった場合は、手続きすると給付金が支給されます。年金証書と本人確認書類(マイナンバーカード等)を準

てくださいます。すでに給付金が支給されている方で、引き続き要件を満たしている場合、翌年度以降の手続は原則不要です。

東秋留駅南口  
車両折り返し場の供用開始

4月1日(水)の午前8時から東秋留駅南口の車両折り返し場とるのバス停留所の供用を開始します。これにより、公共交通を利用する方の利便性を向上させ、公共交通全体の利用促進を図ります。また、折り返し場に一般車両の転回場を設けることにより、道路上での車両の転回がなくなることが見込まれ、歩行者や自転車との交錯する危険性を解消し、安全性を確保します。4月以降ののバスの時刻表と運行経路は、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

秋川溪谷瀬音の湯  
入浴、宿泊施設  
利用料金の改定

昨今の物価やエネルギー価格の高騰等を踏まえ、改定します。

表1

Table with columns: 項目, 改定前(全日), 改定後(平日), 改定後(休日). Rows include 一般料金 and 市民割引 with sub-columns for とな and こども.

表2

Table with columns: 利用区分, メゾネットタイプ, デラックスタイプ. Rows include 利用料金 and 加算料金 with sub-columns for 改定前 and 改定後.

● 入浴料金(3時間) : 表1のとおり  
● 宿泊施設利用料金 : 表2のとおり  
▽ 改定内容 4月1日(水)から  
▽ 入浴料金(3時間) : 表1のとおり  
▽ 宿泊施設利用料金 : 表2のとおり  
※ 宿泊施設利用料金は、各表の金額を上限として、夏休み等のシーズンによって変動します。詳しくは、秋川溪谷瀬音の湯ホームページをご覧ください。

▽ 支給要件(老齢年金生活者支援給付金)  
● 65歳以上で老齢基礎年金を受けていること  
● 前年の公的年金等の収入額とその他の所得額の合計が約91万円以下であること  
● 同一世帯の全員が市・都民税非課税であること  
※ 障害年金生活者支援給付金・遺族年金生活者支援給付金の支給要件は異なります。  
▽ 支給開始 請求手続をした月の翌月分から  
▽ 問合せ 保険年金課年金係、給付金専用ダイヤル(☎0570-054092)